



澤田康幸ゼミナール

0. 概要

- 1 | 開発経済学とは
- 2 | ゼミの活動
- 3 | 先生はどんな人？
- 4 | ゼミ生とOB/OG
- 5 | 今年の澤田ゼミ

1. 開発経済学とは



1. 開発経済学とは

発展した理由を数値化したデータを使って分析し、途上国の経済成長について考える。



1. 開発経済学とは

扱うテーマは幅が広い

ミクロ的観点

- 不完全市場とリスク
- リスクシェアリングと保険
- 教育
- 保健・公衆衛生
- 環境・災害
- マイクロファイナンス
- 政策のインパクト評価とRCT
- 行動経済学との融合

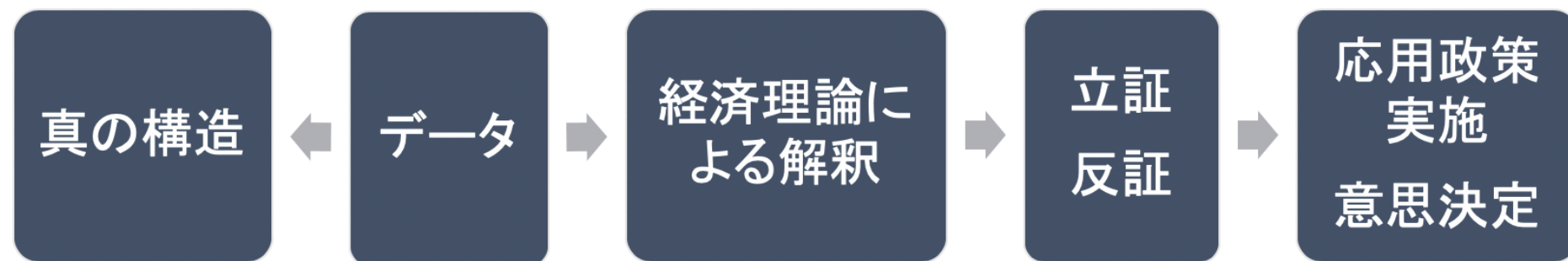
マクロ的観点

- 開発政策理論
- 貧困の罨・中所得国の罨
- 開発援助
- 貿易
- 対外直接投資
- インフラストラクチャー
- 制度・歴史・気候
- 政治経済学

1. 開発経済学とは — 分析のための計量経済学

計量経済学は...

観察可能な経済データから、その発生メカニズムを
経済理論にもとづいて推測することを可能にする。



2. ゼミの活動



2. ゼミの活動

輪読(本ゼミ)

フィールドワーク

韓国インゼミ

インプット

実践

アウトプット

2. ゼミの活動 ― 輪読と実証研究

Sセメスター: 基礎作り/FW準備

- 計量経済学をStock & Watson “Introduction to Econometrics”で学ぶ
- フィールドワーク準備では4年生が主導しつつも3年生も意見出し
- 4年生によるサポート: Stata講習

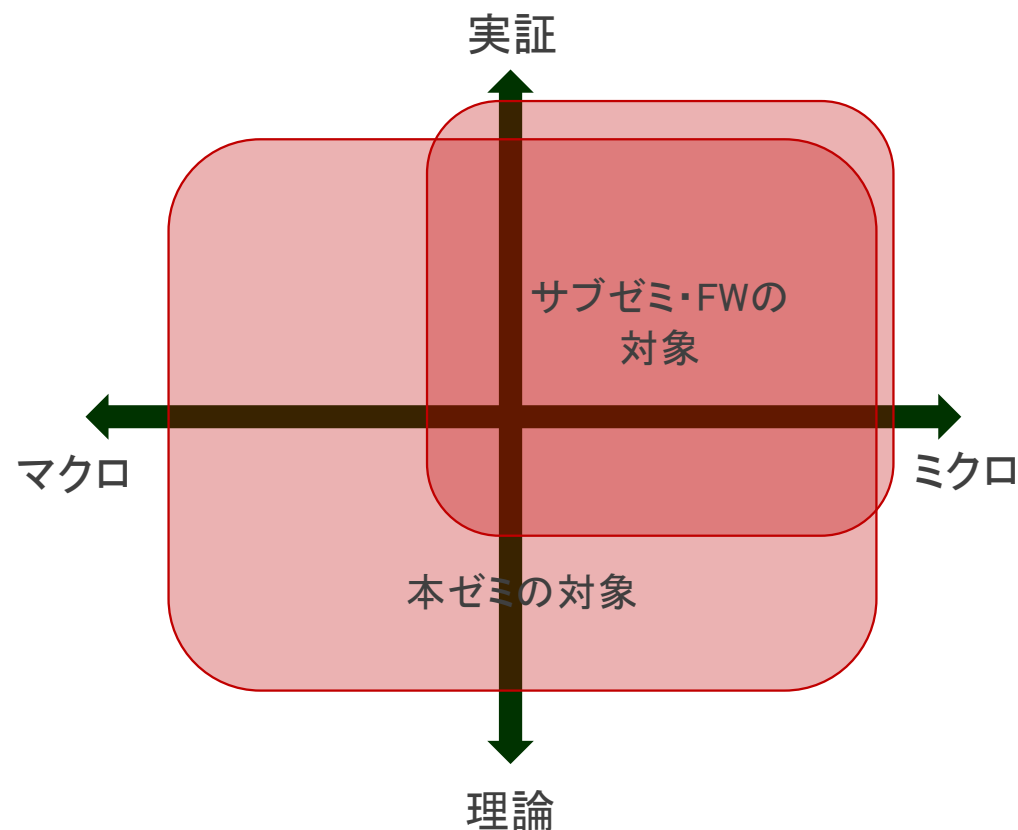
Aセメスター: 関心を深める/論文執筆

- 開発経済学の各トピックをTaylor & Lybbert “Essentials of Development Economics”で学ぶ(2019年度)
- 論文の輪読・ディスカッションを通じて自分の考え・関心を探求する
- 3年生が中心となって論文執筆

2. ゼミの活動 — 学習領域

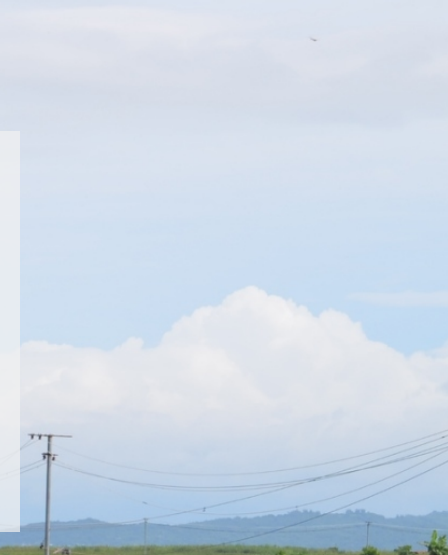
本ゼミでの輪読やディスカッションは広範囲に及びます。

自分たちでの研究の領域は、**ミクロ実証**になることが多いです。



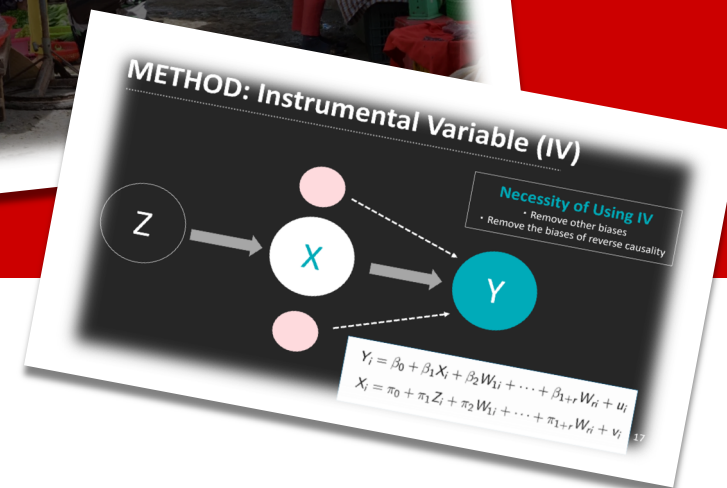
2. ゼミの活動 ーフィールドワーク

毎年1回、途上国に行って自らデータや知見を集め、統計的分析をするという一連の研究を行います。テーマごとに訪問場所は異なり、2019年はベトナム、2018年はフィリピンに赴きました。

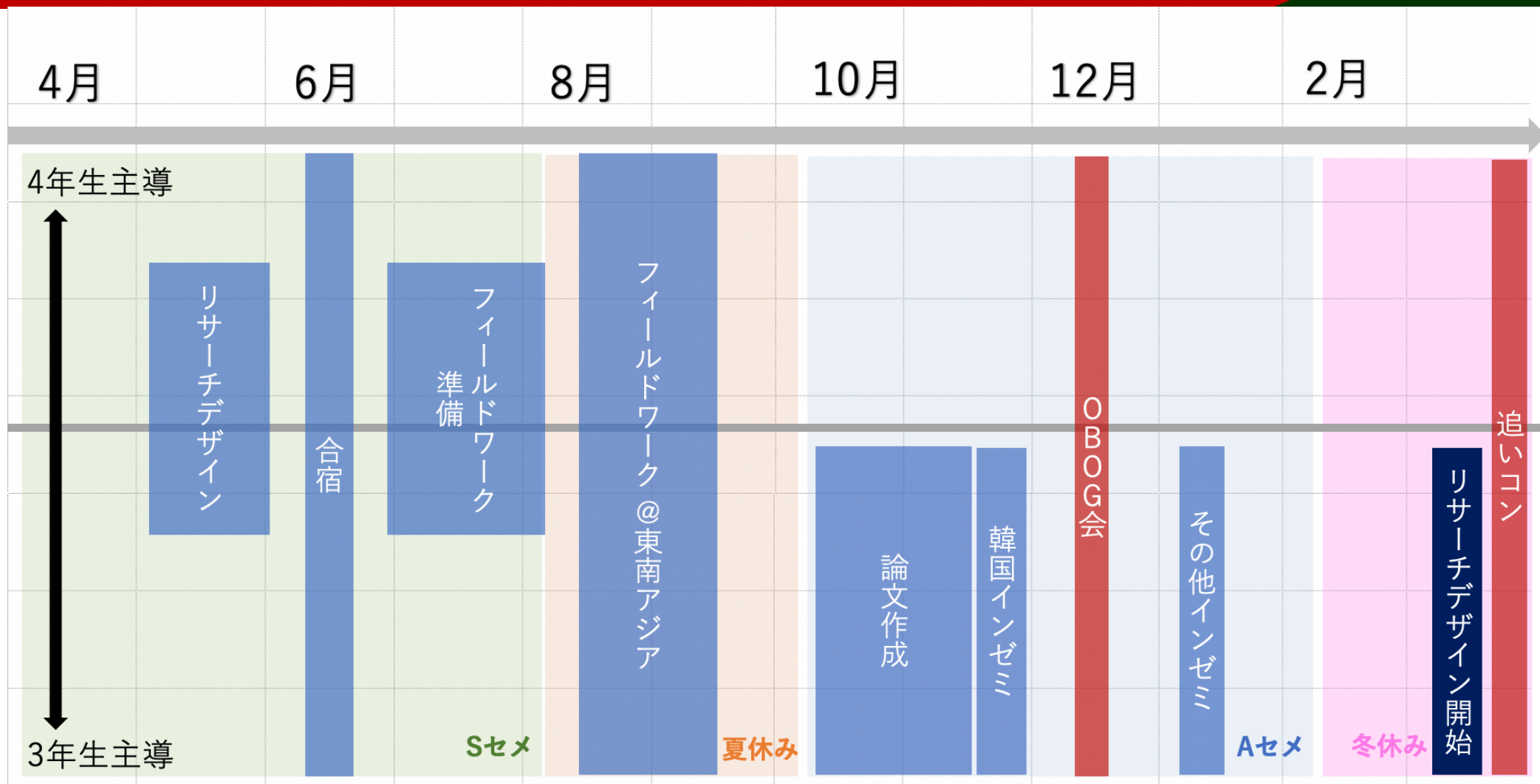


2. ゼミの活動 ー韓国インゼミ

フィールドワークで集めたデータや知見に基づいて英語論文を執筆し、その成果を韓国で発表します。



2. ゼミの活動 一年間予定



3. 先生はどんな人？



3. 先生はどんな人？

慶應大学経済学部

大阪大大学院経済学研究科博士前期課程

東京大学大学院国際関係論専攻修士

スタンフォード大学大学院食糧研究所修士

スタンフォード大学大学院経済学部博士課程 (Ph.D. 取得)

平成19年～東京大学大学院経済学研究科准教授

平成24年～同大学教授

平成29年～アジア開発銀行チーフエコノミスト兼調査局長



3. 先生はどんな人？



- ✓ 親しみやすい
- ✓ 笑顔
- ✓ 飲み会では
奢ってくださる
- ✓ ゼミでは
厳しいツツコミ

4. ゼミ生とOB/OG



4. ゼミ生とOB/OG

勉強への意欲や知的好奇心が旺盛な人が集まっていて、切磋琢磨できる！

フィールドワークや韓国インゼミを通じて、学問的手続きを踏んだ研究ができる人になれる！



4. ゼミ生とOB/OG

院進するゼミ生が比較的多い
(19年は2/11人、18年は4/11人)

長期留学に行くゼミ生も多い
(20年は2人、19年は5人)



商社・銀行、
コンサルなども

ダブゼミが多い

理由①: 澤田ゼミで培った能力が他の分野で活かせるから

理由②: 意欲的に学ぶ人が多いから

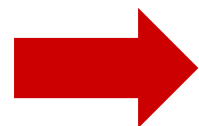
ダブゼミ先: 青木、大橋、大森、岡崎、新谷、別所、松井、柳川、山口...etc

5. 今年の澤田ゼミ



5. 今年の澤田ゼミ

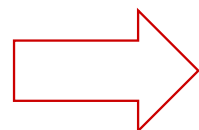
開講区分



少人数講義、金曜5,6限

(S2タームのみ、他は自主ゼミ)

選考課題



澤田ゼミHPに掲載

(<https://sites.google.com/site/swdsemi/>)

最新情報



TwitterやHPで随時発信

( Twitter: @sawadasemi)